

学童保育をなくさないで署名への ご協力ありがとうございました

4月5日、大阪市のPT試案で出された学童保育補助金廃止案に対する撤回運動は、乱暴な補助金廃止を許す
なの怒りの声となつて全国に広がり、最終提出とした5月29日には、34万筆を超える署名を大阪市内に積み上げ
ました。嬉しいことに署名の取り組みは止まらず、その後も続々と届けられ、6月13日には総数**375,975**
5筆を大阪市内に提出することができました。37万筆を超す署名の内、全国からの署名は**112,121**筆に
及びます。「学童保育の存続・発展を願う人たちによる誇るべき成果」と確信しています。

みなさんのご支援に心から感謝しています。
本当にありがとうございます。

大阪市の学童保育関係者は、緊急署名の取り組みを中心に、各区の区長さんや大阪市議会議員（86名中50名）
の方々との懇談、廃止撤回ビラの配布やステッカーシールの掲示などの宣伝活動、そして「大阪市の学童保育・
7つの提言」や「PT案に対する私たちの対案」などの政策を示し、議会や大阪市の担当課に現実的対応を迫る
など重層的な廃止撤回運動を展開してきました。また2度の市民集会（4月24日・260名参加、5月27日・
300名参加）を開催し、学童保育をつぶさない決意を固めました。

私たちの手元には沢山の署名とともに、心励まされるメッセージも寄せられています。「少しですがこの1筆
が役に立てればと思いきや直接送らせて頂きます。学童保育があったから子どもたちは安心して仲間たちと過ごせ、
親は働くことができました。住む場所はちがっても思えば一緒！どうぞ学童保育事業への補助金が廃止されませ
んよう、札幌から応援しております」「新聞で『学童パワー補助金守った』（やりましたね！スゴイです！）と
いう記事を読みました。私の回りでも、数は多くないですが署名してもらいましたので送ります」「東京都江東
区で指導員をしています。私自身、学童つ子だったので、学童という居場所がなくなってしまうのは、本当に寂
しいことです。大変だと思いますが、頑張ってください。全国研でお会いできたら幸いです」——こうした心温ま
るメッセージにどれほど大阪市の学童保育関係者が励まされたことでしょうか。

全国のみなさんからの財政支援も廃止撤回運動を推進させる貴重なご支援でした。守口学童保育連絡協議会か
らの10万円をはじめ、数多くの支援金が団体・個人の方々から寄せられ、署名用紙や宣伝ビラなどの作成や市民
集会の会場費をまかなうことができました。

本当にありがとうございます。

今後、橋下市政は6月中旬にPT素案をPT案として提案し、7月議会で審議し確定していきます。学童保育
については補助金廃止案が撤回されたとはいえ、学童保育の扱いは全児童対策事業の「補完的扱い」であり、2
年後には再び「事業再構築」による合体事業がめざされています。一端の継続は勝ち取ったとはいえ、学童保育施
策が好転したわけではなく、むしろ私たちの運動はこれから「本番」です。情勢の厳しさに変わりはありません
が、ひとつだけ確信をもって言えることがあります。それは、これからの私たち大阪市の学童保育運動は、大阪
市だけの運動ではなく、まちがいなく、

全国の仲間を支えられ、つながりあっているなかでの運動である
ということです。

全国の仲間のみなさんと、ともに「学童保育を発展させる」という願いをひとつにして、引き続き奮闘する決
意をもって、お礼とさせていただきます。

本当にご支援ありがとうございます。

2012年6月14日（木）

大阪市学童保育連絡協議会

会長 梶座 三千子
事務局長 泊 唯 男